

栃木県生協連・2008年度1月定例報告

2009年1月16日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 12月活動日誌

日付	曜日	予定
12月1日	月	宇都宮市食品安全推進懇話会
12月2日	火	福祉センター・理事会、県・市・食品安全委・「とちぎ食品安全フォーラム」
12月3日	水	働く人の相談センター・理事会、JAグループWTO緊急集会 生協総研・公開研究会
12月4日	木	県連・暮らし部会
12月5日	金	福祉センター・防災担当者会議、農政事務所・食育ネット
12月7日	日	NPOサポートネット・理事会
12月9日	火	県連・地域部会
12月10日	水	日生協・全国県連責任者会議、労福協・セミナー
12月11日	木	県連・拡大役員研、県連・理事会
12月12日	金	とちぎコープ・理事会、県ECOテック&ライフ2008出展
12月13日	土	県ECOテック&ライフ2008出展
12月15日	月	とちぎ消費者ネットワーク・全体会
12月16日	火	中央地連・機関運営学習会
12月17日	水	労福協・幹事会
12月18日	木	県内協同組合関係者交流会
12月19日	金	日生協・臨時総会
12月22日	月	食と農をつなげる会
12月24日	水	県連・福祉事業委員会

(2) 会員の動向及び県連理事会

とちぎコープでは、12月2日(宇都宮市内の)鶴田店(スーパーマーケット)を新規開店された。供給高は計画に届かないものの、組合員加入で計画を上回っています。

宇都宮市職員生協では、20周年に当たり全組合員に「マイはし」を配布された。また、12月6日に宇都宮市職員会館で第14回生協まつりが開催され、感謝セールも行われた。

11日県連理事会を開催し、2009年度計画づくりに向けての提案と意見交換、会員の交流状況では増収減益、減収減益などの中での努力、また、11月からの急激な変化など報告され、各会員の厳しさが伝わってくる内容だった。

(3) 12月の部会・委員会

市況の変化の中持ち回りで確認の上、12月1日からレギュラーガソリン(121円→114円)等の価格引き下げが行われた。

4日暮らし部会では、12月に開催されるエコテック&ライフへの出展内容、JA女性会との食と農をつなげる会に向けた準備、3地域生協の秋の取り組みの交流がされた。

9日予定されていた職域部会は、都合で延期された。

9日地域部会は、新センター稼働から2年半になる生活クラブ生協で開催された。生活クラブ生協では、4次中計の組合員論議や新物流システム稼働で3温度帯混載と牛乳の周2回配送など報告された。とちぎよつ葉では、上三川に新営業所設置、新規加入組合員への半年ごとの訪問、とちぎコープでは、コープネットの新運営システム稼働と利用代金の月2回→1回引き引き落としへの変更が報告された。

24日福祉事業委員会では、栃木市保健福祉部首長正博福祉トータルサポートセンター所長兼政策監を講師に、「これからの福祉事業の展開について」をテーマに、約1時間報告いただいた。核となる事業所とランチの設置、事業所群としての小規模多機能、高専賃や有料老人ホームなど非常に参考になるお話をいただき、意見交換がされた。

(4) 県連役員研修会

11日理事会前に、「生協における働き方を考える」をテーマに、生協総研の西村一郎研究員を講師にお願いし、5年に一度ごとに行われている生協の職員の意識調査の報告をいただいた。正規(全国で約3万人)、パート(全国約10万人)、派遣、委託(全国約1万台、約2万人)など複雑性を増してきた雇用形態の中で、どう働き甲斐を持って、職場の活性化ができるのか、現状と課題に触れて講演がされた。

(5) 食の安全の取り組み

1日宇都宮市食品安全推進懇話会が開催され、竹内会長が参加された。中核市としては初めての宇都宮市食品安全条例に基づく食品安全推進計画案(1月にパブコメ予定)について、宇都宮市版のハセップなどの報告と、参加団体間の食の安全関連の交流が行われた。

2日栃木県・食品安全委員会・宇都宮市共催の「とちぎ食品安全フォーラム」が、とちぎ健康の森で開催された。竹内会長がパネラーの一人として参加された。テーマは「みんなで考えよう!食品添加物のこと」で、講演は、食品の安全性の確保についてをテーマに、食品安全委員会の小平リスクコミュニケーション官から、パネルディスカッションは、「食品添加物を考える」をテーマに、5人のパネラーとコーディネーターとして県の北澤保健医療監が当たった。意見交換会としては、それぞれの立場から食品添加物について問題意識が出し合われ、リスクミとしても良かったと思われた。参加者がやや少ないのが残念だった。

(6) 消費者課題について

15日とちぎ消費者ネットワーク全体会では、NPOとちぎ消費生活サポートネットの葛谷理事長を講師に、契約についての学習会を持った。契約については、法定書面が必要、また、クーリングオフについて詳しく説明いただいた。また、宇都宮大学の学生さんから、消費者問題関連の卒論の進行状況と県内自治体首長へのインタビューの報告がされた。

24日ブックレット委員会が開催され、ブックレットの元となる宇都宮大学国際学部の学生さんの消費者問題関連卒論の最終的な進行状況報告がされ、意見交換がされた。また、1月29日の消費者シンポジウムの企画内容について、別途幹事会を開催することとした。

(7) 県内協同組合関係者交流会

18日10年を迎える協同組合関係者交流会では、特別講演として茂木町の古口達也町長にお願いし、食と農からの地域活性化のお話を伺った。地域協議会を基にしたゆず

の里、そばの里、梅と竹林の里、さくらんぼの里、資源循環の美土里館、道の駅の取り組み、えごまの栽培、全て町内材による茂木中学校など、様々な取り組みが行われているが、町民の所得を上げていくことの必要性が話された。

J A中央会からは、食の安全の取り組みが報告された。また、J A全農とちぎととちぎコープの提携が始まり、協同組合交流会に持ち方についても、意見交換を続けることとした。



(特別報告される古口達也茂木町長・中央)

(8) 食と農をつなげる会

22日J A女性会と地域3生協の交流会、2008年度食と農をつなげる会が、約60名の参加で開催された。J A青年部(J Aはがの)の若い2人の生産者から、パワーポイントを使って、稲作農家の現状と施設園芸(トマト)の現状について、約1時間報告がされた。お米やトマトの生産過程での具体的な苦勞や今後の展望なども話された。農産物生産の苦勞が良く理解できたなど、アンケートでも評価がされた。

生協側のとちぎコープととちぎよつ葉生協の理事お二人の報告は、時間が少なくなり十分な交流としては、やや課題を残した。

(9) 環境の取組み

12~13日の2日間、「エコテック&ライフ2008」がマロニエプラザで開催され、栃木県連くらし部会として昨年の2倍のスペースで出展した。従来2月開催されていたが、今年度は12月開催に変更された。

地域生協として取り組んでいる環境の取組みの展示と生活クラブ生協は、「牛乳ビンのふた」から作ったゴミ袋の展示販売。とちぎよつ葉生協は、「牛乳パック」から作ったトイレトペーパーの展示と販売、見学者がつくるアクリルたわしづくり。とちぎコープ生協は、見学者にエコチェックシートをトライしてもらい、重層をプレゼントした。生協コーナーに400人以上が参加され、3生協連携した取り組みとなった。



(エコテック&ライフ
2008への出展)

(10) 生協総研及び日生協関連

3日生協総研の公開研究会として、食料問題をテーマに開催された。東大の生源寺教授、茨城大学の中島教授、加倉井NHK元解説委員、それぞれの角度から食料問題の捉え方が報告された。食料の価格高騰の問題、フードセキュリティの問題、自給率の捉え方、コメ消費の問題、飼料の問題、低価格の加工品の問題、自給的農家の問題、若者の担い手の問題、耕作放棄地の問題など、様々な課題があり、食料自給率を上げると言った時の具体的な取り組みの難しさの反面、その必要性も高まっている。

16日中央地連の機関運営学習会が開催された。改正生協法と新定款や諸規約に沿って、09年の総代会準備をする必要性があり、決算関係書類を前倒しで作成する必要性や、役員選任手続きの確認など、事例報告と共に説明された。

(11) 1～2月の課題

1. 第4四半期の取り組みの具体化と推進
2. 1～2月部会活動（石油部会、職域部会、くらし部会、福祉事業委員会）
3. 1～2月ネットワーク活動（食の安全、消費者シンポジウムの成功、食と農つなげる会の振り返り）の推進
4. 事務局体制の引継ぎ

(1月下旬～2月の主な取り組み・日生協・行政含む)

2009年1月16日現在

- 1月19日(月) 13時半～、ホテルニューイタヤ
名称 「食品安全講演会」
主催 宇都宮市
テーマ クライシスマネジメント
食品報道におけるメディアの功罪
対象 市民
講師 東大吉川教授、日経BP編集部中野プロデューサー
- 1月20日(火) 13時半～、品川プリンスホテル
名称 食の安全学習会
「品質保証体系再構築の到達点と今後の課題」
主催 日本生協連・中央地連
対象 会員組合員・役職員
講師 日本生協連 内堀品質保証本部長・執行役員
日本生協連 嶋田事業企画室長・執行役員
- 1月26日(月) 13時半～、栃木県労働者福祉センター・7階
名称 新型インフルエンザ学習会
主催 栃木県生協連
対象 会員組合員・役職員
講師 栃木県保健福祉部健康増進課疾病対策担当
川上 信博 副主幹予定
- 1月29日(木) 10時半～、宇都宮大学・大学会館
名称 「消費者シンポジウム」
主催 とちぎ消費者ネットワーク
テーマ 消費者庁設置関連3法案都と私たちの消費生活
対象 一般の方、ネットワーク構成団体会員
講師 宇都宮大学国際学部 杉原 弘修 教授
報告者 宇都宮大学国際学部 学生、野寺さん、松田さん
- 2月9日(月) 10時半～、JAやさと
名称 地産地消を考える会
主催 地産地消を考える会
対象 構成団体の会員等
- 2月10日(火) 10時～、とちぎ福祉プラザ
名称 栃木県生協連くらし部会
主催 栃木県生協連
対象 構成メンバー

2月12日（木）13時半～、ブリヂストン那須グループ生協

名称 栃木県生協連職域部会

主催 栃木県生協連

対象 構成メンバー